57 実験室内における*An. minimus*の休息行動調査

○才田 進・川田 均・高木正洋（長崎大・熱研）

Research of resting behavior of *An. minimus* in the laboratory

Saita, S., Kawada, H., Takagi, M.

東南アジアのマラリア媒介蚊として知られている*An. minimus*成虫を用いた。調査は実験室内で行い、80cm立方の成虫用ケージ内と箱（入り口用の穴あり）を用い、成虫用ケージ内に蚊の休息場所として箱を入れ、休息行動および休息環境調査を行った。休息行動調査は、箱の入り口部分にならべた光学式通過センサー（PG-602）から得られた情報を増幅器（PG-610）を通し、コントロールユニット（KV-700、すべて株式会社キーエンス製）からExcel 2002上に情報を送信する事で記録した。休息環境調査は、日中（休息中）に箱の中と外にいる*An. minimus*の数を比較する事により調べた。今回は、実験室内の光条件の変化に伴う休息行動の変化や、箱の形状を変化させる事による休息嗜好性の変化を観察し、得られた結果を報告する。

58 ベトナム北部農村における日本脳炎媒介蚊の吸血行動に関する調査

○長谷川麻衣子・都野展子・高木正洋（長崎大・熱研）・Nguyen Thi Yen・Vu Sinh Nam
(Entomology lab., Natl. Inst. Hygiene and Epidemiology, Vietnam)

Influence of host distribution on the abundance and feeding behavior of JE vectors in north Vietnam

Hasegawa, M., Tuno, N., Takagi, M., Nguyen Thi Yen, Vu Sinh Nam

日本脳炎媒介蚊*Culex vishnui* groupはヒト・家畜ともに吸血する広い吸血嗜好の蚊として知られている。我々は日本脳炎症例が常に報告されているベトナム北部ハノイ近郊の農村において、ヒトと家畜の空間分布が日本脳炎媒介蚊を含む蚊の吸血生態にどのように影響するかを主な関心として野外調査を実施した。隣接する人家50戸から殺虫剤噴霧による屋内休止蚊の採集と屋外に設置したライトトラップ採集をセットにし、各家より2度のサンプリングを2003年6月中に行った。採集した蚊のうち吸血蚊は後日sandwich-ELISAにより吸血源（ヒト・ウシ・ブタ・ニワトリ・その他）を同定した。環境要因として調査地域の採集した50戸を含む80戸の人・家畜数を調べかつそれらの空間的配置をGPSにより記録した。調査地域のホストの空間分布が吸血・未吸血蚊群集の空間分布にどのように関与しているかを解析した。